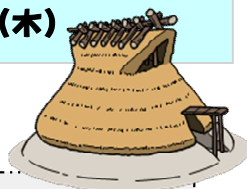


静岡県立清水特別支援学校 (中1) 出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年1月18日(木)



「地域の文化財についても触れていただいたので、今後の地域について調べることにつながりにもなりました。」

静岡県立清水特別支援学校の中学部1年生が、火起こしをする大変さやはにわについて知ることを目的に、ミニはにわ作りと火起こし体験の2つの体験を行いました。



ミニはにわ作り体験

清水特別支援学校の隣には秋葉山古墳が、近所には神明山古墳などがあることを説明し、はにわ作りをしました。土の粘土が乾いてヒビが入ってしまうため、表面に水をつけながら滑らかにしたり、手などの部品をつけるときに悪戦苦闘したりして、苦労しながらも工夫してオリジナルのミニはにわを完成することができました。

「はにわ作りは楽しかった。」



火起こし体験

もみぎり法や弓ぎり法等を紹介し、もみぎり法での火起こしにチャレンジする生徒もいましたが、残念ながら火を起こすことはできませんでした。次に舞ぎり法での火起こしの仕方を説明し、生徒たちがやってみました。初めの方は、弾み車を調子よく回すことが難しかったのですが、慣れてくると2人で協力して回して、火種を作ることができました。火種を取り火口に置き、我慢強く息を吹きかけるとポツと火が起きました。



「どの活動にも興味をもって取り組む姿が、たくさん見られました。」

「大変だったけど、火がついてうれしかった。」

先生方の感想

「地域の文化財についても触れていただいたので、今後の地域について調べることにつながりにもなりました。活動内容は分かりやすく、そして体験も生徒たちが取り組みやすいものでした。センターの職員さんには、地域にまつわること、はにわ、火起こしに関する事など、広がりのある話をいただきました。活動も柔軟に調整していただきました。ありがとうございました。今後も機会があれば設定していきたいと思いました。」

